

コロナ禍における矢作川流域圏懇談会の開催方針案（令和5年度）

コロナ対策は、令和5年5月8日から『個人の選択を尊重し、自主的な取組』となり、政府として一律に求めることはありません。このため、現地(会場)参加における新型コロナウイルス感染症対策について、対応は個人の自主的な判断を尊重します。

矢作川流域圏懇談会事務局としては、会員の皆様に安心してご参加いただける場とするため、対応可能な範囲で以下の対策を行うことにより感染防止対策に努めます。

① 室内における懇談会

検温機器及び消毒用アルコールの設置、換気、ソーシャルディスタンスの確保により、感染・まん延防止対策を行ったうえで開催する。会議形式は、対面とオンラインを併用することを基本とする。

② 野外における懇談会(フィールドワーク・勉強会)

移動にバスや乗用車を利用する際は、空調や窓の開放などにより換気を良くする。また、座席を交互に設けるなどの対策を講じる。

【オンラインを含むWGでの留意事項】

- ① 会場出席の方が発言する場合は、オンライン参加者にも聞こえるよう必ずマイクを使用する。
- ② 発言者は、語尾に「…以上です。」という発言で締めるようにする。

以上